



# 生協連会報



2021

# 3

<主要活動日誌>

<組合員関係活動報告>

成年年齢引き下げ問題に関する公開講座

「成年年齢引き下げでなにかかわるの? ~新成人のための消費生活講座~」 ..... 2

第6回食・消費者委員会 ..... 4

第2回フードバンクと千葉県内生協連携キャンペーン実行委員会 ..... 6

第45回千葉県消費者大会 ..... 8

<業務関係活動報告>

CO・OP火災共済等に関する研修交流会 ..... 9

<1月地域生協組合員供給高状況> ..... 11

<主要日程表> ..... 12

No.492



## <主要活動日誌>

- 2月1日 災害時MCA無線通信訓練
- 9日 第45回千葉県消費者大会（録画撮り）
- 13日 成年年齢引き下げ問題に関する公開講座
- 15日 第6回食・消費者委員会
- 17日 フードバンクと千葉県内生協連携キャンペーン実行委員会
- 24日 CO・OP火災共済等に関する研修交流会
- 26日 第10回サポ・ちば検討委員会

# 成年年齢引き下げ問題に関する公開講座

## 「成年年齢引き下げでなにがかわるの？」

### ～新成人のための消費生活講座～

### 開催報告



日時 2021年2月13日(土) 13:00～15:00

開催方法 YouTubeでのライブ配信、アーカイブ視聴(3月8日まで)

出席者 講師： 公益財団法人消費者教育支援センター主任研究員 庄司佳子さん

司会： 淑徳大学3年生 梅田舞佳さん

漫才： オズワルド、もぐもぐピーナッツ

視聴回数 2月13日視聴 119回

アーカイブ視聴 102回(3月1日時点)

主催・共催 千葉県生協連、千葉市、千葉県高等学校PTA連合会、  
千葉大学生協同組合、東邦大学消費生活協同組合、千葉商科大学生活協同組合  
千葉県学校生活協同組合、

適格消費者団体 特定非営利活動法人消費者市民サポートちば

後援 千葉県、千葉県高等学校長協会、淑徳大学、中央労働金庫

## 内容

### 1. 講演の概要

民法の改正により2022年4月から成年年齢が引き下げられます。それに伴い、18歳、19歳の契約に関する消費者被害の増加が予想されています。

今回、千葉市や千葉県高等学校PTA連合会などの行政や多くの団体と連携し、高校生、大学生及び教員や保護者の皆さんを対象に、成年年齢の引き下げに伴う契約トラブルに対応できるよう若者が知っておくべき消費生活に関する知識を楽しく学んでもらえるような公開講座を開催しました。コロナ禍の中で十分に感染予防対策を講じながら、また多くの人に聴いていただけるようにYouTubeでのライブ配信で開催しました。



庄司佳子先生

講師には、全国の高校、大学で消費者教育の講座をおこなっている、公益財団法人消費者教育支援センター主任研究員の庄司佳子先生にお願いし、学生にも届くようなわかりやすく親しみやすい内容で、お話いただきました。

また、淑徳大学3年生の梅田舞佳さんに司会をお願いし、よしもと住みます芸人のもぐもぐピーナッツと掛け合いながら、楽しい雰囲気で行っていただきました。



左：もぐもぐピーナッツ

右：梅田舞佳さん

<講演スケジュール>

- 1 4.7兆円、これは何の数字ですか？
- 2 成年年齢引き下げで、何が変わるのでしょうか？
- 3 成年年齢引き下げで、周りの人たちは何を心配しているのでしょうか？  
— 休憩 —
- 4 若者に多い消費者被害は、どんな被害でしょうか？
- 5 消費者被害を回避するにはどうしたらよいのでしょうか？
- 6 4.7兆円を大きく減らすために自分ができることは何ですか？



オズワルド

前半では年間の消費者被害額が4.7兆円もあること、大人たちは成年年齢が引下げられることで18歳から保護者（親権者）の同意なしでクレジットカードやローンの契約ができるようになることを心配している…といったことを、庄司先生は丁寧に話されました。

一旦休憩を取った後、後半はよしもとの漫才師、オズワルドによる「訪問販売」の漫才からスタートしました。訪問販売業者の売り込みを断れず、被害にあった人が消費生活センターに相談する話に、会場の関係者も思わず笑ってしまいました。

それを受けて先生は「高齢者だけでなく若者も断れないことが多いんですよ」と、若者に多い被害の話をしてくださいました。最後に「消費者被害にあわないようにするには、本当に必要かをよく考えることが重要です。事業者を変えるのは消費者。事業者に苦情だけでなく良いことでも声をかけるなど、行動し発信する消費者になりましょう」と結ばれました。



御園えみ子所長

最後に今日のまとめとして、千葉市消費生活センターの御園えみ子所長から「契約する時には今日の庄司先生のお話しや漫才を思い出して、よく考えてからサインしてください。もしサインしてから不安になり相談しなくなったときには、ひとりで悩まずにお近くの消費生活センターにつながる番号「188」に電話してください」とご挨拶いただき、講座を終了しました。

## 2. 視聴者の感想

- ・大学生の司会、とても良かったです。ちょうど同じ学年の娘と一緒に聴かせていただきましたが、知っていることもあるけれど消費の考え方や法律について聴けてよかったそうです。漫才とのコラボで印象に残りやすく楽しかったようです。
- ・私は、22歳で大学4年生ですが、消費生活についてまだまだ知らないこともたくさんあり、今回参加させていただきました。中途解約制度や不実告知などなんとなく聞いたことがあるけど、実際そういった場面に直面したときにどう行動していいかわからなかったのが、今回学ぶことができてとても良かったです。大学生でも今日学んだことを知らない人も多いと思いますので、周りに伝えていければと思います。 以上

# 2020年度第6回食・消費者委員会 開催報告



日時 2021年2月15日(月) 14:00~16:00

開催方法 ZOOM 会議システムを使用

出席者 ○講師：千葉県漁業同組合連合会 専務理事 勝山満さん

○委員 津田・丸岡 (パルシステム千葉)、巽 (コープみらい)、  
並木・中井 (生活クラブ生協)、

○事務局：上山・佐久間・竹内・依光 (県連)、大田 (日本生協連：オブザーバー)

○会員生協などからの学習会参加者 : 10人 計 21人

## 内容

### 1. 【学習】 「東京湾における漁業の現状」

講師：千葉県漁業協同組合連合会

専務理事 勝山 満さん



今回は、第3回の JA 千葉中央会の農業に続き、千葉県漁業協同組合連合会の勝山専務理事より、東京湾の環境問題と千葉県の漁業の現状についてお話しをお聞きしました。

### 東京湾における漁業の現状

1. 日本の漁業制度の概要
2. 千葉県漁業の概要と変貌
3. 東京湾における漁業の現状
4. 東京湾における漁場環境改善への取り組み

#### 《要旨》

- ・県内では当初 35 あった漁協のうち、3 つが解散し現在 32 漁協となっている。
- ・そのような中でも、千葉は銚子港が 2020 年までの 10 年間連続で水揚げ高日本一、勝浦港ではカツオの水揚げが気仙沼(宮城)について第二位となっている。しかし一見好調だが、1970 年からの 10 年ごとの水揚げ(生産量)で見ると、全国順位は 8 位前後を維持しながら総生産量は 27 万トンから 14 万トンと半分近く減っている。
- ・日本全体の漁獲高が減っている。例えば、秋サケやサンマの激減。温暖化で暖流の勢いが強く、北上できず日本近海に來られないのではないかと。
- ・埋め立て用の土砂を掘り起こした深堀跡で発生する魚介類が生存できない貧酸素水塊や温暖化による高水温帯など、東京湾の漁業環境が厳しくなっている。
- ・今、東京湾における漁場改善の取り組みを開始し、神奈川・東京・千葉による「東京湾関係漁連・漁協連絡会議」を立ち上げ、環境省・農林水産省(水産庁)へ要請活動をおこなっている。また、生協と産直連携を通じ、環境活動にも取り組んでいる。

《持続可能な漁業を確立し持久力を高めるためには、漁場の維持改善が大前提》

◆現状の東京湾漁場における課題

1. 温暖化等による海水温の上昇や気候変動の問題  
太陽光、再生可能エネルギーへの転換
2. 不安定な栄養塩の問題  
下水処理での窒素・リンの過剰な排除
3. 残留塩素の問題  
上下水道の塩素殺菌から紫外線殺菌等への転換
4. 貧酸素水塊の解消  
新堀部の埋め戻し
5. プラスチックごみや流竹木の流入問題  
河川周辺の木や竹の管理強化

東京湾をかつての  
「豊かな海」へ再生

- 国・関係都県の施策推進
- 国民の理解・意識と協力

最後にまとめとして、勝山専務は「国連のSDGsには『13気候変動に具体的な対策を』、『14海の豊かさを守ろう』、『15陸の豊かさを守ろう』と基本的な目標が掲げられています。海や東京湾の利用ということから考えても、親水や魚貝草類を食するという点で消費者も漁業者同様に、海の恩恵を受けています。消費者の皆さんも「海との共生」の気持ちを醸成し、「豊かな海の再生」にご協力ください。」と締めくくられました。

2. 各生協からの報告

○生活クラブ生協・千葉

- ・2020年11月に秋のつどいを各ブロックにて開催。年末年始特別企画のサンプル試食を規加入者中心におこない、その声を機関紙やSNSで発信し利用を呼びかけました。
- ・1月は、熊本県水俣市の生産者グループ「きばる」の甘夏みかんの利用促進活動を毎年行っています。今年はコロナ禍の中、動画を活用して今年の作柄報告と生産者のメッセージを共有し、サンプルを活用してオンライン交流会を開催しました。

○パルシステム千葉

- ・オンラインつどいに、12月は9センター23企画177名参加、1月は23企画300名参加しました。他にも、産直交流企画や「食の安全学習会」をオンラインで開催し、多くの方に参加していただきました。
- ・リアル参加型で「オンラインに初挑戦の方」支援Zoom学習会を12月に開催しました。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、昨年3月以降、生活困窮者への食料支援の取り組みは10団体、39回実施しています。

○コープみらい

- ・今年も11月から1月にかけて、自治体訪問をおこないました。これまでの積み重ねから、首長や担当課と今後の取り組みなどを一緒に相談できるようになっています。
- ・2020年度振り返りと2021年度方針を、地域の中で話し合いながら作成しています。
- ・県内産地の産直交流会や総代向けSDGs学習会などを、ZOOMで開催しました。
- ・2月に、様々な活動を発信する「コープみらいウェブ交流フェスタ」を開催します。

3. 今後の予定

2021年度第1回 2021年4月中旬を予定

以上

# 2021年度 第2回フードバンクと 千葉県内生協連携キャンペーン実行委員会報告

1 貧困を  
なくそう



17 パートナリシップで  
目標を達成しよう



日 時 2021年2月17日（水曜日） 13：30～15：45  
開催方法 Zoom を活用した Web 会議  
出 席 菊地（フードバンクちば）、笹田（フードバンクふなばし）  
高橋、山崎、田中（とうかつ草の根フードバンク）  
岡部、高山（コープみらい）、丸岡（パルシステム千葉）、  
柴山（生活クラブ生協）、涌井（なのはな生協）  
佐久間、白井（千葉県生協連）

## 内 容 フードバンクと県内生協連携キャンペーンについて

※ 企画案をベースに今年度やりたいこと、できることなどのアイデアラッシュをおこないました。

### 1. マスコミ等を使って社会ヘアピール

①記者発表（キックオフイベントの中身を始め全体の案内）

協賛、後援：県知事にメッセージを貰う

②メディアの人達にフードバンクを知ってもらえるようなツアーを企画

「食品を寄付する→フードバンク→寄付を受ける」フードバンクで箱詰めを体験しそれぞれの立場の人の思いを感じてもらう。

★記者の人が一日で取材可能か、費用はどうか検討する

### 2. 組合員、消費者を巻き込んで社会ヘアピール

①フードドライブでギネス記録に挑戦する。イベントの目玉として

★費用、挑戦内容、認定について詳細を確認する

②箱詰ゲーム＋中学生記者による取材ツアー

・箱に詰める食品を何種類か（米、おかず、菓子、飲料）などを準備し支援者の生活状況に合わせ何種類か選び箱詰し、何を選んだかを交流しお届け先のくらしを想像してみる。

★中学生記者は「夏休み宿題応援企画」の一環で募集

★オンラインでの検討、

★3か所のフードバンクにすべて行くのか、各地域のフードバンクに別々に取材に行くのかの検討

★発表の場、発表の仕方をどうするか

### 3. 目的の拡大

#### ①JEF、ちばジェッツなどにも協力をお願い

キックオフイベントという枠にとらわれず、フードバンクと生協が協働でフードドライブを社会にアピールするイベントとして視野を広げる。

★募金やメッセージ

### 4. キックオフイベントの開催の仕方

★取り組み方法によっては、一か所に集まらなくてもキックオフイベントになるのでは？

★キックオフイベントという枠にとらわれず、フードバンクと生協が協働でフードドライブを社会にアピールするイベントとして視野を広げる。

★社会にアピールする方法

### 次回の日程

3月18日（木曜日） 10:00より WEB開催



## 第 45 回千葉県消費者大会開催報告



2月9日に、開催を予定していた第45回千葉県消費者大会は、新型コロナウイルス感染防止のため、開催方法を動画公開に変更し、同日動画公開のための録画を行いました。

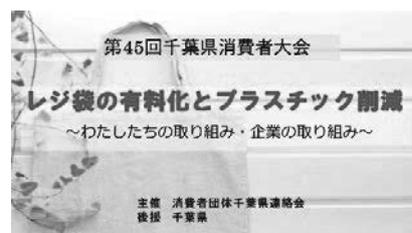
当日は実開催と同じプログラムで進行を進め、講師、司会者、消団連の関係者はそれぞれの場所から、また事務局および代表幹事は千葉県生協連の事務所からZoomによるオンラインで参加をしました。

録画日時：2020年2月9日（火）10：00～12：00

録画方法：Zoomを活用したオンラインによる

公開期間：2021年2月15日（月）～3月31日（水）

事前視聴予約：45名



### 内 容

今年度の大会は、プラスチックを削減の意味や必要性、企業の取り組み事例を学び、わたしたちのエシカル消費に役立てることをテーマに「レジ袋の有料化とプラスチック削減～わたしたちのとりくみ・企業のとりくみ」と題して開催しました。

消団連代表幹事で千葉・茨城公団住宅自治会協議会の阿部さんの開会あいさつの後、講演会がはじまりました。

第1部では「なぜレジ袋が有料化に？レジ袋から考えるプラスチック削減」について国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター室長の田崎智宏氏に講演をしていただきました。

第2部では「米菓トップメーカーの新たな挑戦」として亀田製菓株式会社コーポレートコミュニケーションチームの池ノ上雄樹氏に講演いただきました。

また講演後には、会員8団体の活動報告をおこないました。

録画された動画は後日編集を行い、現在YouTubeで期間限定公開しています。

動画は下記のURLまたはQRコードより視聴できます。また視聴後のアンケートへのご協力をお願いしております。こちらもよろしくお願いいたします。



#### Part1

- ・開会あいさつ
- ・講演会



<https://youtu.be/THOVp-mRQEU>

#### Part2

- ・会員団体活動紹介



<https://youtu.be/VmS9pdlvqzE>

**日時** 2月24日（水曜日）午前10時から午前12時  
**会場** WEBでの開催  
**出席** こくみん共済coop千葉推進本部 事業推進本部：杉浦事務局長、  
秋山部長、篠崎次長、椎名課長補佐、  
千葉県生協連：伊藤（コープデリ連合会）、山田（パルシステム千葉）、  
高橋（生活クラブ生協）、河内（なのはな生協）、野澤（ちば住宅コープ）  
上山・佐久間・白井（千葉県生協連）

## 内 容

### （1）開会あいさつ

こくみん共済coop千葉推進本部杉浦事務局長より、初めにこくみん共済coopの活動に対し理解と協力をいただいていることへのお礼が述べられました。今年には東日本大震災から10年となり、先日の2月13日に福島沖で発生した地震が東大震災の余震と言われていることに改めて自然災害の脅威を感じたこと、また本日の火災共済の研修では、災害の特徴を確認し活発な意見交換をし、協働、協力関係を継続していきたいと挨拶がありました。

### （2）こくみん共済coop千葉推進本部からの報告

こくみん共済coop千葉推進本部より以下の報告がありました。

- ① 杉浦事務局長より、2020年11月までの各共済の保有実績・共済金支払の状況、令和3年2月13日に発生した福島県沖地震を震源とする地震の被災受付状況について
- ② 椎名課長代理より、過去の災害事例をもとに台風・地震・大雪による被害への備えのポイント、自然災害共済を付帯することのメリット、保障の必要性、保障の点検・見直しについて、
- ③ 篠崎次長より、2019年度C0・OP火災共済の共済金の支払い、加入傾向、2021年度の推進活動強化企画について
- ④ 篠崎次長より、2021年度C0・OP火災共済 推進の提案について  
2020年度上半期の各地域生協の実績報告

### （3）共済事業の推進に関する会員生協事例報告（意見交換）

- なのはな生協からは、コロナ禍で推進活動も制限があったが、パンフレットやチラシ、各職員作成の個人ニュースなど電話や郵送でのお知らせ活動と、11月にこくみん共済coop椎名氏に推進の仕方などの勉強会をしてもらいました。来年度はアンケート形式のチラシの回数を増やしたり、既存契約者で自然災害共済未加入者の対応などをしていきたいと報告がありました。
- パルシステム千葉からは、8つの配送センターに共済の定時スタッフを配

置し推進活動を行った。こくみん共済 coop 椎名氏に全センター、本部で研修会をしてもらい推進体制の強化ができた。台風などの自然災害が相次ぐ中、組合員さんのニーズに応え組合員さんの暮らしに寄り添い、お役立ちを最優先として共済推進活動をしていきたいとの報告がありました。

- 生活クラブ生協からは、生活クラブ共済連と合わせ年 14 回チラシを配布し、資料請求者への対応を実施、前年の台風被害の影響もあり夏から秋に火災共済への資料請求件数が多かった。こくみん共済 coop の「ママ防災ハンドブック」を活用し組合員さんへ災害に対する備えの意識づけをはかります。次年度は、FP 資格保有者を増員し、火災共済を含めた保障全般を提案できるような体制を整え組合員さんの役に立っていききたいと報告がありました。
- コープデリ連合会からは、2020 年度第 2 回火災共済推進報告会の中で下期は特に火災共済の推進を強化し、店舗ではチラシ入りの PP 袋の配布、宅配では資料請求を増やし見積がとれるような推進、CO・OP 火災共済の宣伝 DM についての説明がありました。コロナ禍の影響でどのような推進活動をしていけるのかをみんなと相談したいと報告がありました。
- ちば住宅コープからは、昨年の台風で被害を受けた家屋がまた復旧できてない住宅が多数ある中で、そんな方たちが修理の詐欺にあわずに早く修理ができるようこくみん共済 coop と協力していきたいと報告がありました。

今回の研修交流会は WEB での開催でしたが、コロナ禍の研修や推進の方法、対応など各生協の課題などについて質疑を含めて幅広い交流をしました。

#### (4) 閉会あいさつ

千葉県生協連上山専務理事より、こくみん共済 coop と各生協が連携して組合員さんに寄り添ったお勧め活動ができるよう、毎年このような顔の見える関係の研修・交流会を継続して開催していくことを確認して終了しました。



## 2021年1月組合員数・供給高状況

単位：千円

項 目	なのはな	パルシステム千葉	コープみらい	生活クラブ	合計
当月純増組合員数	5	460	633	42	1,140
前年当月純増数	-31	246	767	30	1,012
累計純増組合員数	-149	1,293	6,970	1,033	9,147
前年累計純増数	118	5,595	17,170	261	23,144
当月末組合員数	12,791	253,351	881,066	44,165	1,191,373
当月供給高	159,559	2,491,272	8,937,663	638,750	12,227,244
前年当月供給高	136,904	2,146,296	7,594,833	590,999	10,469,032
前年比	116.55%	116.07%	117.68%	108.08%	116.79%
前年当月前々年比	104.96%	102.33%	96.85%	101.16%	98.26%
累計供給高	1,826,287	28,767,002	87,709,708	8,128,377	126,431,374
前年累計供給高	1,503,311	24,954,959	78,130,499	6,952,238	111,541,007
前年比	121.48%	115.28%	112.26%	116.92%	113.35%
前年累計前々年比	98.80%	101.32%	99.27%	99.05%	99.70%

※ コープみらいは、千葉県内の事業所の数字です。

主要日程表								
3月			4月			5月		
日	曜		日	曜		日	曜	
1	月		1	木		1	土	
2	火	MCA 無線通信訓練/ピース アクションキックオフ集会	2	金		2	日	
3	水		3	土		3	月	
4	木	サポ・ちば理事会	4	日		4	火	
5	金	災害対策委員会	5	月		5	水	
6	土		6	火		6	木	
7	日		7	水		7	金	
8	月	「子どもたちに平和な未来を 2020」実行委員会	8	木		8	土	
9	火		9	金		9	日	
10	水	職域生協部会	10	土		10	月	
11	木		11	日		11	火	
12	金		12	月		12	水	
13	土	第59回全国消費者大会	13	火		13	木	第6回理事会/サポちば理事 会
14	日		14	水		14	金	
15	月		15	木		15	土	
16	火		16	金		16	日	
17	水		17	土		17	月	
18	木		18	日		18	火	
19	金		19	月		19	水	
20	土		20	火		20	木	地域生協部会
21	日		21	水		21	金	
22	月		22	木	役員推薦委員会	22	土	
23	火	第5回理事会	23	金		23	日	
24	水		24	土		24	月	
25	木		25	日		25	火	
26	金	地域で活動する方との交流会	26	月		26	水	
27	土		27	火		27	木	
28	日		28	水	監事会	28	金	
29	月	「子どもたちに平和な未来を 2020」	29	木		29	土	
30	火		30	金		30	日	
31	水		31			31	月	